

■ そろそろドル/円は一旦底入れ&反発へ！？

先週3/2日、ドル/円は一時105.25円まで下押すこととなった。先週行われたFRB議長の議会証言を受けては下げ、後に示された米大統領の輸入規制方針を受けては下げ、さらに昨日(3/7)はゲーリー・コーン米国家経済会議委員長の辞任で下げ…。FRBのパウエル議長にしてみれば、自身が「米国経済の足腰は強い」と示すたびに株価が大幅下落して結果ドルが売られるのだから当然、心中穏やかではないだろう。トランプ米大統領にしてみれば、自身の一挙手一投足に市場が面白いように素直な反応を示すのだから、それはさぞやご満悦であろう。

もっとも、大方は市場にドル売りの“口実”を提供しているに過ぎないということになるのであり、目下はそれだけドル売りで行きたい…。少なくとも3月いっぱいにはドルの上値を追うことが難しい状況であることも否定はできないものと思われる。

とにかく、本邦機関投資家による米国債売りが盛んになっている模様。3月期末を控えて、保有の米国債が「利回り上昇＝価格下落」と「ドル安」のダブルで損しているのだから困ったものである。米国債を処分(損切り)する一方で、穴埋めのために利の乗った日本株を売却するとなれば、ますますドル円の上値は重くなりがちとなる。もちろん、こうした本邦機関投資家による米国債売り、ドル売り、日本株売りは4月になればピタリと止むはずである。よって、個人的には3月中の押し目でドルと日本株を買い拾っておきたいと考える。

テクニカル的に見ても、近くドル/円は一旦底入れから反発となる可能性が高いと見られる。下図に見るように、まずは2015年6月高値を起点とするレジスタンスラインと2016年6月安値を起点とするサポートラインとで形成される三角保ち合い(トライアングル)が徐々に煮詰まってくる。2016年12月高値からの調整が5波構成(a-b-c-d-e/図中緑線)であるとすれば、c波は「3/2安値をもって終わった」か「もうじき終わる」と見られる。



実のところ、3/2の週(先週)は複数の「(安値)サイクル」がその終点を迎える可能性のある週であった。あらためて上図を見るに、3/2の週というのはドル円が「概ね43~45週ごとに目立った安値をつけるサイクル」と、その2回分である「概ね88週ごとに目立った安値をつけるサイクル」が一旦終点を迎える可能性のある週であったことがわかる。

さらに、昨年9/8安値を付けた週からは25週目となり、いわゆる「20週(安値)サイクル」もそろそろ終点を迎えておかしくない。3月期末であることを考慮すれば、そのタイミングが相前後することも考えられ、いずれ一旦底入れの時期は近いと見られる。